

🕒 ごおりまち

議会だより

令和3年 秋号 vol.126

新総合計画 2

令和2年度 決算認定 4

9月定例会 9

一般質問 6名登壇 12

モニターさんからの意見 22

起立賛成・不起立反対が同数となり
議長裁決となった「総合計画」
詳しくはP.2、P.10をご覧ください

議長 賛成

賛成 5 対 反対 5

将来像・10年後の理想の町の姿

「みんなが幸せを実感できる
元気なまち こおり」

基本構想における6つの方針

活力と賑わいに満ちたまちづくり
危機管理に備えた
安全安心のまちづくり
暮らしと自然が調和した
豊かさを実感できるまちづくり
健康長寿で元気なまちづくり
子どもを大切にするまちづくり
交流で絆を育むまちづくり

町民との共創と効率的な行財政運営

議員のかんがえ

自由討議

賛成6
対
反対4

発議者 半澤 高

提出議案に対し審議し結論を出す場合、議員相互間の自由討議で議論を尽くし合意形成に努める（基本条例第9条）

半澤…計画の提出は9月で無くて良い。認定ことも園に関して町民は分からない。説明後に計画の承認をしても良い。

助はなくとも地方交付税措置がなされる。

岡本…町からの説明は充分であった。コロナ禍により延期されている新しい総合計画の策定を急ぐべきである。

原…総合計画の提案は、新年度の予算編成において適当な時期である。公設幼稚園は残るので、親の選択となる。

鈴木…総合計画(案)の認定ことも園の記述は総合教育会議・総合計画審議会を経ての予定計画であり今後協議が必要だ。

岩崎…子育てに係わる家庭の経済を軽減し、教育力は継続すべき。保護者の声を生かしてほしい。保育所は公設を望む。

討論

反対 齋藤 松夫 議員

4つの理由が反対の態度だ。

①蚕糸跡地に商業施設誘致及び幼稚園・保育所民営化に導く幼保連携型認定こども園誘致方針をうたっている。これは蚕糸跡地の町取得経過無視並びに、幼稚園・保育所への町方針を突然変更した異常なものだ。②特に「民設民営化移行方針」は、総合計画審議会前日の計画策定本部

(次ページにつづく)

「新総合計画」

未来躍動プラン」

賛否がわかれた

(仮称)「献上桃の郷こおり」

(案)

桑折町総合計画

2022年 - 2031年
(令和4年) (令和13年)献上桃の郷こおり
未来躍動プラン

会で当初案を変更し、審議会答申を得た異常な事務執行。③同民営化は、教育委員会の協議及び意思決定を欠いて締結した「基本協定」に基づくもの。この面でも異常な事務執行。④民営化の目的のひとつが保育所等運営経費削減にある。

賛成 佐藤 武朗 議員

10年後の目指す姿として「みんなが幸せを実感できる 元気なまち こおり」を掲げ、実現に向けて6つの方針を設定した総合計画となっている。

計画を策定するにあたり令和元年9月から策定にご尽力された方々に敬意を表します。計画達成のための6つの重点プロジェクトを設定。プロジェクト毎に連携する課を設定して推進を図ることは評価できる。

変動の激しい時代でもあり、流れを敏感に感じ取り、スピード、民間のノウハウ等の活用、柔軟な考えで推進していただきたい。3・5・2年にしっかり検証し10年後の目指す姿の実現を期待する。

反対 斉藤 謙 議員

民営の幼保連携こども園新設のために、町立保育園を廃止し

賛成 岡本 貴士 議員

2つの理由から賛成する。

1点目に、一日も早い総合計画の策定がのぞまれている点である。

現在、本町は、コロナ禍により、新総合計画の策定が延期されている状態である。

2点目に、中長期的な新型コロナウイルス感染症対策が計画されている点である。

近年は環境の変化が激しい。必要なときは、本総合計画に縛られることなく、町民の福祉のため、大胆に計画を変更する勇氣も必要であることを強調し、賛成討論とする。

反対 半澤 高 議員

「乳幼児保育と教育の充実」における方策の方向性の中にある

賛成 原 賢志 議員

民設民営の認定こども園に関する説明が不十分であり反対する。なお、新計画をまとめ上げた総合政策課をはじめとする町職員、審議会の皆様に感謝申し上げる。

本計画は、10年後の町が目指す姿・町づくりの基本目標・その実現に向けた施策及び基本的取組事業等を重点プロジェクト・分野別基本計画として掲げ、前期・中期・後期毎に見直しを行うとしている。サブタイトル

の「みんなが幸せを実感できる 元気なまち こおり」が実現できる計画であると評価する。

計画実施においては、全庁一体となって施策の推進体制を確立し、毎年度PDCAによる検証をしっかりと行い、施策の見直しや目標値の更なる上積み等が行われ、より素晴らしい桑折町ができることを期待する。

反対 川名 静子 議員

蚕糸跡地に「認定こども園」設置の案が総合計画の中に入っている。民間自ら進出するならともかく、この案を町が選ぶとは。未だ民設の明確な教育方針がない。何よりどちらを選ぶかは保

賛成 議長

起立・不起立同数であります。地方自治法第116条第1項の規定により「可否同数のときは議長の決するところ」と定めがあります。

議長が本案に対し裁決します。本案は、本町の10年間を想定し方向性を示した計画であり作成にあたった審議会委員はじめ関係各位に敬意を表すると共に今後、各事業の具現化においては、時代背景等も鑑み、見直し等の検討もしながら、町民への丁寧な説明と理解・協力・共同をもって実行されるよう望み本案について議長は「可決」と裁決いたします。

賛成 6 反対 5

令和2年度 決算「住み続けたいまち こおり」を目指し！

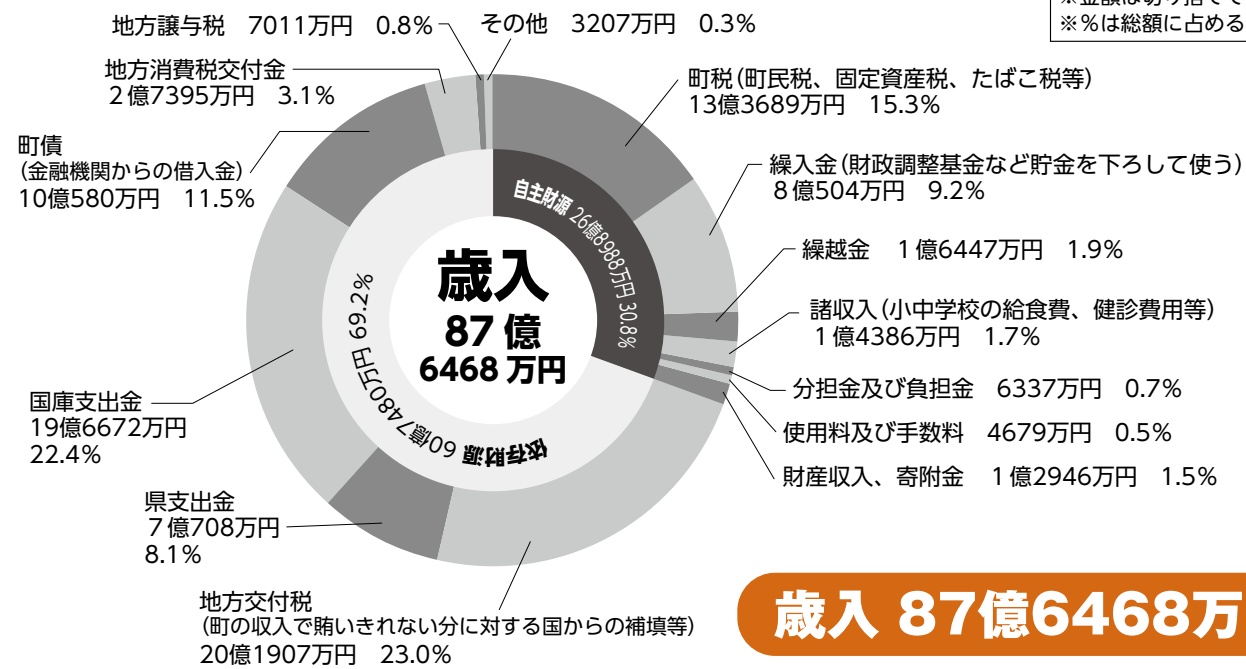
認定

賛成 6 / 反対 4

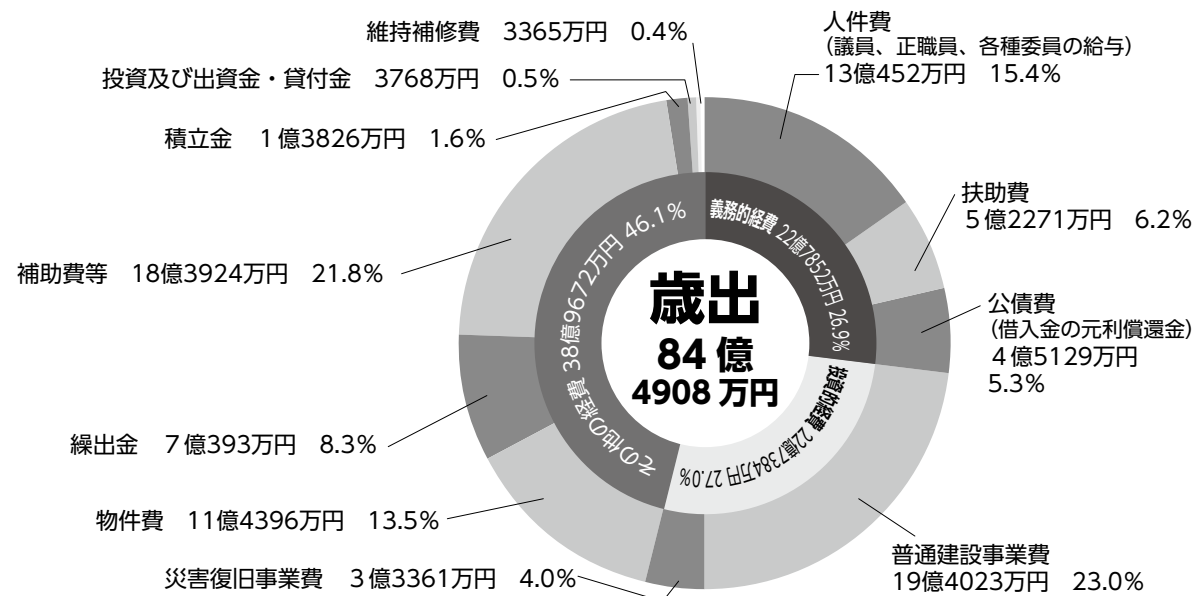
町税一人あたり年次別比較

町税一人あたり総額 令和2年度 116,830円 (2,018円増)
(令和元年度 114,812円)

※金額は切り捨てで万円まで。
※％は総額に占める構成比。



歳入 87億6468万円



歳出 84億4908万円

- 自主財源…町が自主的に収入する財源
- 依存財源…国や県から定められた額を収入する財源
- 投資的経費…施設など財産として将来に残るものに係る経費
- 義務的経費…支出が義務付けられ任意に節減できない経費

令和2年度 このように使われました。(多い順)

款	本年度決算額	構成比	主な内容
総務費	36億7840万円	43.5%	新庁舎建設関係、指定管理料、一部事務組合負担金、人件費
民生費	12億6822万円	15.0%	社会・老人・児童・母子・障がい者福祉関係、各種予防費
教育費	9億2583万円	11.0%	子育て支援、小・中学校ICT環境整備、文化財保護、災害復旧

〈健全化判断比率〉 報告された健全化判断比率

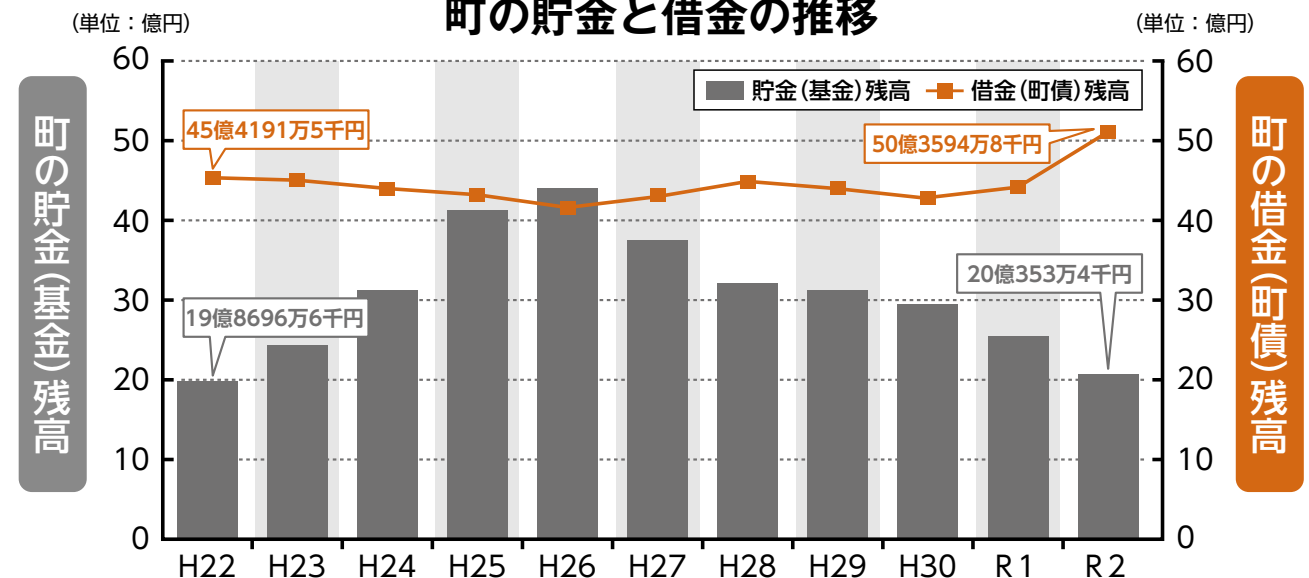
実質公債費比率※1		将来負担比率※2	
30年度	11.4%	30年度	3.6%
令和元年度	10.4%	令和元年度	14.4%
令和2年度	9.6%	令和2年度	36.6%
早期健全化基準※1 25.0%		早期健全化基準 350.0%	

※1 実質公債費比率、早期健全化基準…数値が小さいほど固定経費、借金の支払いが小さく財政負担が少なくなります。
※2 将来負担比率…数値が小さいほど将来の負担が小さくなります。(借金の支払いなどが減っていく)

主な特定目的基金

がんばるふるさと 桑折応援基金	積み増し額	9544万3千円
	年度末保有額	1億856万2千円
財政調整基金	積み増し額	1億6000万円
	年度末保有額	10億792万6千円
公共施設 維持管理基金	運用収益(利息)	1万5千円
	年度末保有額	7479万7千円

町の貯金と借金の推移



町の借金(町債)残高

令和2年度
一般会計決算

総括質疑

岡本貴士議員

半澤 高議員

復興・創生は成し得たのか

問 令和2年度の方針には「令和2年度は東日本大震災・原発事故災害から10年目となる『復興・創生の総仕上げの年』である」と述べていた。令和2年度の町政運営の評価を伺う。

答 復興については、一つの区切りは成し得たものと思う。復興に向けて、町民の皆さんと心一つにして取り組めた。自然災害前に戻すだけでなく、新しい町を目指す思いで取り組んできた。福祉センターに代わるイコーゼ！開設をはじめ、相馬福島道路の開通や新庁舎も開庁した。すべての除染土フレコンバッグは中間貯蔵施設へ搬入済である。

種徳美術館の耐震化は

問 2月の福島県沖地震によって大きな被害を受けた種徳美術館について応急復旧がなされたが、同じような地震が発生した場合、同様の被害を受ける。種徳美術館のあり方を伺う。

答 所管別質疑の中で担当課長が答えたように種徳美術館は耐震化されていない。来年度において「まちづくり交付金」のなかで検討したい。

川名 静子議員

区域を限定した景観づくりは

問 5年間の西山城跡の整備が終わり、旧伊達郡役所を核とした街道が持つ文化財と回遊させ、生かさなければならぬ。郡役所を拠点に街道の趣きに合う景観づくりも必要と考える。全体

齋藤 松夫議員

蚕糸跡地想定応募事業者の有無は

であり、次年度には繰越金活用計画を明確にした取り組みが重要である。尚、物件費、繰出金補助費等が増加傾向にあり、見直しを検討し節減が望まれる。

答 繰上げ償還に関しては関係当局と協議の上検討する。その他の経費は行政改革の一環として取り組んでいく。

リソース活用で情報把握

問 地方創生の実現に向けて、経済産業省は各自自治体の「地域経済分析システム」いわゆるリソース「ビッグデータ」を活用した地域経済の見える化」を目的に開発した。今後、環境省もSDGsに関連した取り組みを促進するため、参入する予定「地方版総合戦略」の促進を狙いとしているが、一部の担当課のみならず、全課が活用できるように、自前の勉強会を実施し知識習得を図るべきである。

答 全職員が活用できる知識習得の機会を増やしていきたい。



が難しいなら区域を限定する方法もある。町方針として保存対象の所有者には協力して頂き、早めに保存する事はできないか。

答 西山城跡整備は5年をもつてけじめをつける。山城サミットは全てリモートで行い、来年度総仕上げをしたい。旧郡役所の復旧工事は完全リニューアルまで2年位かかる。その間に「まち交」を使い全体計画を進めていく。歴史保存地区は計画的に取り組む。

佐藤 榮三議員

入札制度の主観点付与は

問 入札制度の主観点付与については近年の異常気象、地震による風水害、土砂災害等の復旧工事に対する支援は地元事業者によるところが多大なものがある。これらの事業者に対して協力を得るためにも入札制度の主観点付与が必要と思われるが町長の所見は。

答 入札制度においては公正公平性が必要であり、そのような考えから今までは主観点は付与してこなかった。自然災害対策については今までに管工事組合とは組合との間に災害協定を結

答 耐震改修のためには自己資金を工面することが必要であり、その点に困難があることもこの事業が進まない一つの理由と考

える。今後促進策について検討していく。

討論

反対
齋藤 松夫議員

一般会計決算認定に対し、4つの理由で反対する。

①当該年度においては、豪華庁舎建設に加え議会議決前に同工事変更契約を締結し工事を進めた。②蚕糸跡地利活用のため商業施設等のプロポーザル公募を行ったが、その内容は町民8000人が支持した「蚕糸跡地利活用計画」に反している。③同プロポーザル公募は、町営による幼稚園・保育所運営方針を突然覆し、民設民営化への移行方針を打ち出す端緒となった。これは「町総合計画案突如書き換え」で行政を歪めた。④コロナ対策業者支援第二弾給付金が、他市町より大幅に遅れた。

んでおり、多大な協力をいただいている。今後は建設業組合と同様の協定締結に向けて進めていく。その他地元企業にも多大なる社会貢献活動をいただいている。主観点付与については担当課で検討する。

鈴木 隆志議員

セキュリティ向上対策は

問 地方公共団体情報流失及びシステム障害など町民生活に重大な影響を生じないようセキュリティの強靱化を図ると共に安定運用に向けての取り組みが必要と考える。

答 県と連携しネットワーク強靱化対策を推進してきた。

国のDX推進計画に於いても情報セキュリティ対策は重要項目になっている。総務省でもセキュリティポリシーガイドラインの改訂が行われ、町としてもセキュリティポリシーの見直しを図るなど、行政として預かっている情報管理について万全の体制で取り組んできた。今後も、徹底して取り組んでいく。

賛成
岡本 貴士議員

3つの点から賛成の立場を取る。1点目に、令和2年度は、東日本大震災・原発事故災害からの復興・創生、総仕上げに全力を傾けていた。2点目に、令和2年度の決算状況はおおむね良好な状況であり、財政指標、財務書類、健全化判断比率も評価できる。3点目に、令和2年度は、コロナ禍という難しい環境の中、臨機応変に行財政運営が行われた。

今後の行財政運営にあたっては、大震災の教訓を活かし、引き続き、適正かつ効率的な予算の執行を徹底し、住民福祉の向上に努めることを求めている賛成討論とする。

賛成
原 賢志議員

コロナ禍により多くの事業が縮小や中止を余儀なくされたが、コロナ感染症対策関連事業等を含め多くの事業が実施され一定の成果を上げた評価する。コロナ対応は、全庁一丸となって取り組み町民及び事業者のご理解・ご協力もあり、近隣市町の

空地等対策での空地利用促進は。

問 桑折町空家等除却補助金事業制度を活用して空き家を解体することで空き家問題は解決しても、新たに空地が放置される等問題が発生することが考えられることから町の対応は。

答 空地について、空家対策等計画の空き家等の市場流通活用促進対策に位置づけ、空家バンクに登録し積極的に市場流通にて活用が図られている。

例年実態調査を実施して、市場流通で活用できる物件について利活用促進を図っているが、不動産に対する思いがあり中々空家バンク登録まで進まないのが現状である。今後も、対応検討していく。

斉藤 謙議員

代位弁済分の繰上償還を

問 財政調整基金を取崩し、堰向工業団地借入金残高(土地開発公社借入分)を繰上げ償還し、債務比率を低下させるとともに町民ニーズの事業へ返済分を充当していく必要がある。

また、繰越金は前年度不用額(次ページにつづく)

感染状況が厳しいなか少数で抑えることができたことや保育所運営も職員数が少ない中、協力し合いながら事業に取り組み成果を上げたことを評価する。また、町税収納率も早期の適切な対応により上昇することができたことも評価する。



もめにもめた福島蚕糸跡地の利活用

認定

令和2年度特別会計決算

		歳入	歳出	差引残金
国民健康保険	決算額	13億4,907万7千円	12億9,815万1千円	5,092万6千円
	概要	予算額に対し1.4%減、前年度の歳入に対し2.7%減になった。	予算に対する執行率は94.8%となった。	全額を翌年度へ繰越した。
後期高齢者医療	決算額	1億7,159万1千円	1億7,157万3千円	1万7千円
	概要	予算額に対し、648,878円の減となった。予算額に対する収入割合は、99.6%であった。	予算に対する執行率は99.6%となった。	全額を翌年度へ繰越した。
介護保険	決算額	16億3,903万3千円	15億9,352万9千円	4,550万4千円
	概要	予算額に対し6,083,035円の減となった。	予算に対する執行率は96.9%となった。	全額を翌年度へ繰り越した。
公共下水道事業	決算額	3億3,772万8千円	3億2,782万7千円	990万1千円
	概要	予算額に対する収入割合は102.6%であった。	予算に対する執行率は99.6%となった。	全額を翌年度へ繰り越した。

	決算概要	収益的収支	資本的収支	令和1年度処分の内訳
水道事業	有収率は88.5%で、漏水調査を行い排水管等の漏水を修繕したことにより前年度より0.2%増加した。	収入 3億6,075万6千円 支出 3億1,455万7千円 純利益 4,619万8千円 (消費税)	資本的収支では7,475万8千円の不足が生じた。	建設改良積立金に7,886万4千円を積み立て、残金を令和2年度へ繰越した。

令和2年度決算審査

監査委員の意見書(要旨)

行財政運営を評価

予算の執行・関連事務処理は適正

一般会計

一般財源は、今後の大きな伸びを期待することは難しい。一方、歳出面では、総合計画に列挙された地方再生に向けた取組み、加速する少子高齢化や公共施設の維持管理・更新、さらには、新型コロナウイルスや天候不順への対応等々、多種多様な行政需要への対応が求められる。行財政運営にあたっては、適正かつ効率的な予算の執行に徹し、更なる町政の発展と住民福祉の向上に努められたい。

水道事業会計

収益的収支で純利益となった。有収水量は増加しているが、給水人口は減少している。今後も長期的な経営の安定を図るため、継続して事業運営の合理化、効率化に努める必要がある。

財政健全化審査

- 実質赤字比率
 - 連結実質赤字比率
 - 実質公費比率
 - 将来負担比率
- 右記のいずれも早期健全化基準から見た健全性は保たれている。

桑折町監査委員

紺野 範明
佐藤 武朗

討論

反対 原 賢志議員

修正動議を提出する理由を説明不足としているが、元となる資料を承知したうえでの提出ではない。よって今回の提案は、公募型プロポーザル実施要項に基づき厳正に審査員会で審査された結果であることから修正する必要があるものと考え反対とする。

賛成 齋藤松夫議員

この修正案提出は理にかなったものと考えている。重要なことはこの修正案はプロポーザル公募における業者選定の是非を問うものでなく、当局が十分な説明をしたうえで、修正予算を再提出することを求める趣旨のものだ。私は情報開示請求で得た文書により、2業者の企画提案内容を承知しているが、これを見れば見るほど、そのことの必要性を感じている。よって本修正案に賛成の態度をとるものである。

健康福祉課、産業振興課にあった課内室はなくなる。

討論

反対 川名静子議員

今回の改正はこれまで問題となっていたことに対し、早めに検証し対策を講ずるべきだった。事務内容も大きく変わり町民にとってさらに複雑化した。改正することで更なる効果上がるとは思えない。それ以上に職員の意欲もやる気もおきない改正であることから反対する。
なお、対象となる課の職員の痛みを、時代の流れと一言で片づけるのではなく、我が事として捉えられるトップであって欲しい。

賛成 齋藤松夫議員

合併ではなく自立の道を選択した町の行政機構は、簡素で効率的なものであるべきと考える。こうした観点からすれば、本修正案に対しては賛成の態度をとることができる。

しかし一番重要なことは、「自

9月定例会

会期：9月7日～22日

条例改正

・町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例及び町個人情報保護条例の一部改正
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う条すれ対応の改正

マイナンバーカードを使うと

手数料が半額に

・町手数料徴収条例の一部改正
本条例中の関連する項目の削除や、証明書等を個人番号カードを使用してコンビニで交付サービスに係る手数料の免除、軽減についての改正

・町課設置条例等の一部改正

令和4年度を初年度とする総合計画の着実な推進と多様化する町民ニーズや新たな行政需要に対応できる組織とするための改正

- 「まちづくり推進課」
- 「地域整備課」
- 「上下水道課」
- 「こども教育課」
- 「生涯学習課」
- 「教育文化課」

提出議案

決算認定6件、条例改正3件、新総合計画、水道事業未処分利益剰余金の処分、補正予算5件、報告2件、同意1件、請願1件、陳情1件、選挙1件、発委1件、発議1件の24件を原案通り承認・可決・同意した。

反対 佐藤武朗議員

この歳入は、公募型プロポーザルで決定した「旧役場庁舎跡地」の売買代金である。今年4月より募集に向け進めてきており、議会にも4月に「公募型プロポーザル実施要領」を説明しており、合法的に進めてきた事実と理解している。この時期に振り出しに戻ることは、選定業者にとつては大きな問題になる。

また、このような事態を招くことは、本町の信用失墜につながり人口減少対策、インター周辺への企業誘致、若者定住促進、新規農業者の確保等、今後のまちづくりを進めていく上での問題に発展しかねない。よって反対するものである。

賛成 川名静子議員

今回の一般会計補正予算には、凍霜害等町民にとって重要な補正であることは承知しているが、「町有地売却収入300万円」については議会が可否を判断するだけの資料不足、説明も不足だ。不十分なままで原案に賛成することはできない。問題になったことで多くの資料を取り知り得

た。プロポーザル方式を指摘しているのではない。補正になぜ300万が、最優秀と次点は何が違うのかも説明がないままで議員は町民に何が説明できるのか。このことからこの修正動議は正当である判断から賛成をする。

反対 議長

起立・不起立同数であります。地方自治法 第116条第1項の規定により「可否同数のときは議長の決するところ」と定めがあります。

議長が本案に対し裁決致します。本案は旧役場庁舎敷地の売却へ向け公募型プロポーザル方式で民間事業者の公募を行いプロポーザル方式に従い事業者選定がなされました。結果、最優秀者が決定され、予定とされる町への歳入額であります。

よって議長は本案に対し「**否決**」と裁決いたします。
賛成5名 反対6名

補正予算

第2弾 プレミアム商品券発行

◆一般会計(第3号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ2億7697万9千円を追加し、予算総額を62億4963万2千円とするもの。

《主な歳入》

- ・普通交付税 6565万5千円
- ・地方創生臨時交付金 3368万8千円
- ・国宝重要文化財等災害復旧費 国庫補助金 5291万3千円
- ・原発事故に係る損害賠償金 5399万円
- ・町有地売却収入 300万円
- 《主な歳出》
- ・基金管理費 5699万1千円
- ・商工振興対策費 3292万円
- ・文化財保護管理費 5219万1千円
- ・文化財災害復旧費 7559万1千円
- ・職員人件費 ▲716万9千円

討論

反対 川名静子議員

修正案が否決されたことから一般会計補正予算には反対の態度を取る。今補正の中には一点を除き町民へは早く進めなければならぬ事は十二分に承知している。自ら資料を取り寄せ議論をしないとあからさまにならない。町は議会と両輪で進めていくからには、議会にしっかりとした説明をするべきだ。

今後においても事業の進め方はたくさんあると思うが、議会も議員も議論ができる、協議ができる資料を求めるものです。

賛成 岡本貴士議員

2つの理由から賛成する。1点目に、コロナ禍に苦しむ町民・町内事業者への大きな支援が予算化されている。コロナ禍に苦しむ町民の悲痛な声に対し、迅速かつ公平な支援が盛り込まれたことは評価できる。2点目に、「旧役場庁舎敷地」の売却が適切かつ迅速に行われる。空き家である旧庁舎は、令和3年福島県沖地震の際に瓦等が落下した。通学路にも近く、

町の安全、防災、景観上、迅速な売却・開発が求められていた。引き続き、コロナ禍に苦しむ町民に寄り添い、積極的な町づくりを強く求めて賛成討論とする。

反対 齋藤松夫議員

補正予算案に計上の「町有地売り払い収入300万円」は、旧役場庁舎売却に係るプロポーザル公募の結果に基づくものだ。このプロポーザル応募業者に対する審査及び選定過程を質した結果、この業者選定は公正・公平を欠いたものと判断せざるを得ない。よって本案に反対の態度をとるものである。

賛成 議長

起立・不起立同数であります。地方自治法第116条第1項の規定により「可否同数のときは議長の決するところ」と定めがあります。

議長が本案に対し裁決致します。本案は一般会計の補正という点から、コロナ対策関係費を含め急を要するものなど、町民生活に直結している補正予算であることから、議長は本案に対し「**可決**」と裁決いたします。
賛成6 反対5

◆国民健康保険特別会計(事業勘定)(第2号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ154万2千円を追加し、予算総額を13億3850万8千円とするもの。

《歳入》

・繰入金 154万2千円

《歳出》

・一般管理費 154万2千円

◆介護保険特別会計(保険事業勘定)(第2号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ3454万3千円を追加し、予算総額を17億372万1千円とするもの。

《歳入》

・繰越金 3454万3千円

《歳出》

・償還金 2503万円

・一般会計繰出金 951万3千円

◆公共下水道特別会計(第1号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ26万7千円を追加し、予算総額を3億1244万3千円とするもの。

《歳入》

・繰越金 26万7千円

《歳出》

・一般管理費 10万6千円

・事業費 16万1千円

補正予算

◆一般会計(第4号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ749万円を追加し、予算総額62億5712万2千円とするもの。

《歳入》

・災害救助費等負担金 (現年度分) 749万円

《歳出》

・災害救助費 749万円

※同一会期中に内容が異なる二つの補正予算は、一事不再議の原則に抵触はしないか。今後の事務の進め方について議長から町へ申し入れをした。

同意

町教育委員会委員の任命
半田地区

氏名 鈴木キヨ子(再任)
住所 南半田字六角14番地
任期 令和7年9月30日

報告

一般会計継続費精算報告
継続費(新庁舎整備事業)に係る継続年度が令和2年度で終了したため報告するもの。

議案審議結果表

○賛否の分かれた議案

議案名	議員名	岡本貴士	鈴木隆志	岩崎久男	齋藤松夫	佐藤武朗	斉藤 謙	羽根田八千代	佐藤榮三	川名静子	半澤 高	原 賢志	議 長	可否
修正動議 議案第38号 令和3年度桑折町一般会計補正予算(第3号)に対する修正案		●	●	○	○	●	○	—	●	○	○	●	●	否決
議案第38号 令和3年度桑折町一般会計補正予算(第3号)		○	○	●	●	○	●	—	○	●	●	○	○	可決
議案第42号 桑折町総合計画「献上桃の郷こおり未来躍動プラン」		○	○	●	●	○	●	—	○	●	●	○	○	可決
議案第43号 桑折町課設置条例等の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	—	○	●	●	○	—	可決
認定第1号 令和2年度桑折町一般会計歳入歳出決算認定について		○	○	●	●	○	●	—	○	●	○	○	—	認定

○：賛成 ●：反対 □：討論者

○全会一致で可決の議案

議 案 名		討論者	議 案 名		討論者
報告第4号	令和2年度桑折町一般会計継続費精算報告書について		認定第3号	令和2年度桑折町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	
報告第5号	令和2年度桑折町一般会計等歳入歳出決算に伴う健全化判断比率及び公営企業会計等に係る資金不足比率について		認定第4号	令和2年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算認定について	川名静子
議案第36号	桑折町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例及び桑折町個人情報保護条例の一部を改正する条例		認定第5号	令和2年度桑折町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	
議案第37号	桑折町手数料徴収条例の一部を改正する条例		認定第6号	令和2年度桑折町水道事業会計決算認定について	
議案第39号	令和3年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)		議案第35号	令和2年度桑折町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	
議案第40号	令和3年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号)		選挙第1号	福島県伊達郡国見町・桑折町有北山組合議会議員選挙について	
議案第41号	令和3年度桑折町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)		議案第44号	令和3年度桑折町一般会計補正予算(第4号)	
同意第2号	桑折町教育委員会委員の任命について		発委第6号	新型コロナウイルス禍による米危機の改善を求める意見書(案)	
認定第2号	令和2年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定について		発議第4号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書(案)	

※報告は採決なし

FAX 024-582-2454

議会だよりアンケート回答用紙

このアンケートは、「議会だより」秋号をご覧になってのご感想をお寄せください。より良い「議会だより」発行へ役立てさせていただきます。

締め切り：11月1日(月)

提出先：・お近くの議員に渡す

・FAX 送信番号 024-582-2454

・お手数ですが議会事務局(町役場3階)までご持参願います。

氏名(任意)		年 齢	10代・20代・30代・40代 50代・60代・70代・80代以上
性 別		お住まい地区	桑折・半田・伊達崎・睦合
職 業	会社員・パート アルバイト・公務員・会社役員・自営業・学生・その他		

問1) 「町議会だより」(年4回発行)を読んでいますか?(いずれかに☑)

☐必ず読んでいる ☐ときどき読んでいる ☐ほとんど読んでいない

問2) 1. 「町議会だより」の掲載内容で特によく読まれる項目は何ですか?

☐一般質問 ☐定例会の主な議案の概要 ☐閉会中の議会活動

☐その他()

2. 紙面構成や内容(文章・見出し・写真等)の印象はいかがですか?

☐良い ☐普通である ☐あまり良くない

3. 色・文字の大きさ・ページ数・紙質はどうですか?

☐現在のままでよい

☐変えた方がよい(色・文字の大きさ・ページ数・紙質)

問3) その他:「町議会だより」へのご意見・ご感想があれば自由にお寄せください。

ご協力ありがとうございました。

※ご記入いただきましたアンケートは、今後の議会だより編集の研究・統計に利用場合がございます。個人情報となる氏名などは厳正に管理し、一般公開することは一切ございません。

一般質問

町政を問う 60分

- ◇議員が事前通告した内容に基づいて、一人持ち時間60分で行われます。
- ◇内容は、質問者の責任において作成されたものを掲載しています。
- ◇質問項目は、通告によるものです。
- ◇議会ホームページ(録画)で過去一年分までご覧いただけます。

登壇議員	質 問 項 目 ◎印の質問の概要を掲載しています。
斉藤 謙 議員 (10ページ)	◎去る5月、文部科学省による2年ぶりの全国学力テスト等に関して ・防災まちづくりの課題などに関して ・まちづくりに関わる文化財等に関して ◎伊達崎橋架け替え工事等に関して ・インター周辺への企業誘致に関して ・SDG s 宣言の町としての取り組み等に関して ・普通地方交付税決定額等に関して
川名 静子 議員 (11ページ)	・令和2年度の決算をどのように総括したか ◎教育行政全般に関して ・歴史風致維持向上計画に関して ◎空き家、空き地対策に関して ・「美しいまち こおり」の推進に関して ・特別委員会からの要望に関して
鈴木 隆志 議員 (12ページ)	◎新型コロナワクチン接種率向上に向けた対応について ・若年層に対する新型コロナウイルス感染拡大防止対策について ・全国山城サミット桑折大会開催に伴う新型コロナウイルス感染症対策について ◎通学路の安全総点検による安全対策について
齋藤 松夫 議員 (13ページ)	・新型コロナウイルス感染症の爆発的感染となった要因、及び対策について ・基本協定締結にまで至った蚕糸跡地への商業施設誘致について ◎町幼稚園・保育所を廃止し、令和5年4月に福島市の社会福祉法人による「幼保連携型認定こども園」へ移行する基本協定締結について ・旧役場庁舎跡地等売却事務について ◎一市2町を構成団体とする公立藤田病院のあり方について
岩崎 久男 議員 (14ページ)	・原発の処理水の海洋放出について ◎都市計画法制度について ・東京電力(株)に対する損害賠償請求について ◎幼稚園保育園の民営化について ・数字で見る桑折町の姿(保育、教育)について
半澤 高 議員 (15ページ)	◎新型コロナウイルス感染症対策等について ◎旧役場庁舎跡地の売却および今後の開発等について ・旧蚕糸跡地利活用について



斉藤 謙 議員

地元への説明責任を果たすこと 道路整備も含め説明はしていく



町民の要望が漸くかなうか

「伊達崎橋架け替え工事」等に関して
伊達市、国見町、桑折町の首長により、県知事への伊達崎橋架け替えに関する要望書が提出され、県でも伊達崎橋の果たす役割が大きいことを理解しているため、前向きな答弁となっているが、伊達郡議員大会でも、伊達橋架け替え及び道路の整備等を要望している。道路に関しては朝夕のラッシュ等踏まえた道路拡張等も併せて検討していくべきと考える。

なお、早期架け替え工事を実施するためには、地元国会議員や県会議員への支援要請をするべきでないか。
答 町長 要望の結果、県では「今年度、架け替えに要する調査費を確保する」との前向きな回答を頂いたところであり、長年の懸案であった老朽橋の架け替えが大きく前進したものと捉えている。今後とも早期完成に向け、国会議員や県会議員へ支援を要請する。

学校別公表はどのように行うのか 数値等の公表は控える、保護者等へ

「全国学力テスト」等に関して
問 当町の学力テストの結果はどのようなになっているのか。
また、学校保健統計調査における町内の実態を伺う。
答 教育長 小学校6年と中学校3年を対象とした結果は、国語及び算数・数学の計14科目において、県平均正答率を上回ったものが9科目、下回ったものが5科目であった。全体的には、コロナ禍の影響は認められず、全体としては県平均を超えている目標に近づきつつあると捉えている。
本町においても、国・県の傾向と同様に、肥満の増加、視力の低下がみられ、また虫歯の割合も全国平均より高かった。

これも質問

- 問 「SDGs」宣言の町としての取り組みの具現化を
- 答 中学生の声を真摯に受け止め具体化したい
- 問 インター周辺への企業誘致は可能なのか
- 答 農産法に基づき協議条件が整い次第、手続きに
- 問 歴史と文化の町にふさわしい案内板の設置を
- 答 各地区の文化的遺跡に回遊性を持たせる



ご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

「議会だより 夏号」にて、ご意見やご感想を頂き、その中から、いくつかをご紹介します。今後とも皆さんとの意見交換を大切にしていきます。

声

夏号は特に表紙から議員の活動が読み取れた。特別委員会はスペースを大きく取ってみては。(80代女性)

答

貴重なご意見ありがとうございます。特別委員会の紙面スペースの件は、編集会議で検討します。

声

毎回読みごたえのある内容で楽しく拝見しておりますが、もう少し文字が大きくなればと思います。(70代女性)

答

ありがとうございます。読みやすさにつながるよう工夫します。

声

「地方創生 SDGs 推進の町」を宣言したので、議会だよりでも具体的な各施策を知らせてほしい。(70代女性)

答

素晴らしい切り口のご意見です。ありがとうございます。

声

一般質問と写真（キャプション）の内容が不一致であり、脈絡がない。(40代男性)

答

貴重なご意見をいただきありがとうございます。気を付けて編集していきます。

声

議員の唯一の武器は言語(言葉と文章)です。誤字・脱字・文法間違いを極力排除し、手本になるように。(60代男性)

答

ありがとうございます。至極当然のことです。

声

町政の動きを知ることができ、感謝いたします。(60代女性)

答

ありがとうございます。励みになります。今後とも精進いたします。

声

アンケート提出のために読んでいるのではない。ムダだ。(70代男性)

答

お読みいただき、ありがとうございます。近くの議員に口答でも結構です。

声

各議員共、よく勉強されていると思います。(70代男性)

答

ありがとうございます。今後も更なる研鑽に努めていきます。

声

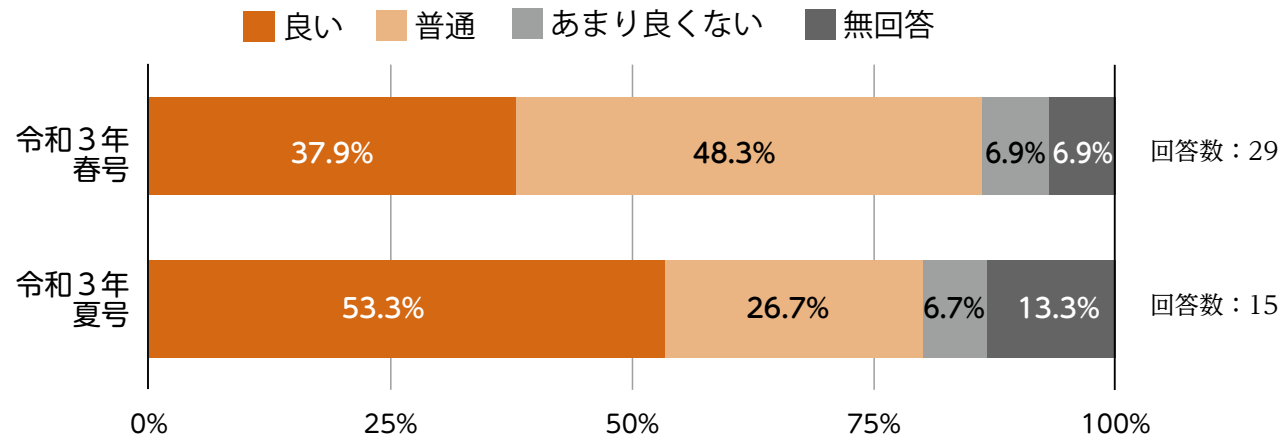
議員さん、ご苦労様です。町の様子が身近に感じられます。(70代男性)

答

今後も、町民に寄り添った「議会だより」を発行していきます。

アンケートの集計結果のご紹介(一部)

(質問) 「町議会だより」の紙面構成や内容の印象はいかがでしょう?





齋藤 松夫 議員

幼保政策大転換の理由を問う 多様なニーズ対応と経費節減だ

問 幼稚園・保育所を民間に明け渡すというのは、これまでの政策の大転換である。よって次の事項についての答弁を求める。
①検討経過、②その理由、③職員の処遇、④基本協定締結の合理的根拠、⑤同協定締結前に議会等への説明をしなかった理由、⑥総合計画審議会前日に突如民営化方針へ修正の理由、⑦総合計画議案9月議会提出を撤回せよ。

答 町長 ①②④⑤をまとめて答弁。これはプロポーザル公募の結果である。病児・病後児保育など、多様な保育ニーズへの対応と保育所経費圧縮のため。③正規職員は幼稚園への配置転換、会計年度任用職員は松葉福祉会が前向きで受け入れ方向。⑥8月10日の方針決定により変更。⑦審議会答申を尊重し、予定通り議会に提出した。



町立の認定こども園もあるのだが…

公立藤田病院民営化も検討か 医療体制の維持充実を図っていく

問 幼稚園・保育所民営化問題の根源は、小泉内閣以来の新自由主義路線にある。すなわち官から民への政策だ。町長は今般、この政策推進の立場を鮮明にした。そこだが、公立藤田病院に対しては公設公営路線の貫徹か。それとも公設民営路線も視野に入れ検討するという立場か。同病院副管理者の立場を踏まえ

答 町長 公立藤田病院については、地域住民の信頼に応える中核病院として、十分にその役割を果たしているところであり、今後とも、町民が安心して生活できるよう医療体制の維持、さらには一層の充実を図っていくことが重要であると考えている。

これも質問

問 コロナ禍での業者支援の第二弾は
答 今期定例会に補正予算を計上した
問 旧分庁舎を残して活用すべきでは
答 宅地化を条件に業者を公募した

問 8月20日総合計画審議会が開催。保育体制の研究が、民営化方針に転換となる経過について分かりやすく説明して戴きたい。未来の子供たちの環境を、非正規職員で賄う体制こそ、改善すべきである。余りにも急な展開に、違和感を抱かざるを得ない。民営化問題は、重要な案件なので議会で議論の場を設けるべきである。

答 町長 総合計画については、向こう10年間のまちづくりの指針で、個々の施策について方向性を示したものであり、今後具現化にあたっては、議会に対して丁寧な説明に努めていく。

**都市計画法34条11項の進捗は
県都市計画課と協議中である**

問 都市計画法34条11項の対象区域については、合意を得た下郡地域は今年度の指定に向け県と協議を進めているが進捗状況について伺う。

答 町長 区域指定については、県北建設事務所の事前確認が終了し、現在、本申請に向け、県都市計画課と協議中である。

幼稚園、保育園の民営化は 各関係者と連携のもと進める



岩崎 久男 議員



若い世代はどう考えるか

これも質問

問 原発の汚染水の海洋放出については、断固反対を
答 地元の意見が最大限に反映されるよう望む
問 東電(株)に対する損害賠償請求は
答 一部合意約5,000万円を受領
問 数字で見る桑折町の姿から具体的な施策を
答 総合計画及び戦略に基づき移住定住を促進



議員 高 澤 半

なぜ公募型プロポーザル？ 解体設計費用の経費削減等のため



もったいない

旧役場庁舎跡地売却および今後の開発について次の点を伺う。

問 「良質な住環境の形成」とあるが、議会に示された資料では当該地を17区画に分けた図面のみで理解できないがどうか。

答 町長 事業者の決定に関しては、区画のみの判断ではなく提案の内容を総合的に勘案した結果であると捉えている。

問 株式会社シゲキ(最優秀者)との本契約の時期は。

答 町長 今月(9月)内に締結したいと考えている。

ワクチン接種の進捗状況は 順調に進んでいる

新型コロナウイルス感染症対策について伺う。

問 ワクチン接種の進捗状況は。

答 町長 8月25日現在、1回目接種率が70%を超える状況にあり、順調に進捗している。今後もワクチン供給量の動向を注視しながら11月末までに希望するすべての方が接種できるよう取り組んでいく。

これも質問

問 蚕糸跡地の協議の進捗状況は

答 測量作業等を完了、施設ごとの面積を調整中

総務文教常任委員会

委員長 斉藤 謙

- 1 調査事件
人口減少時代下における行財政運営管理のあり方について
- 2 調査目的
人口減少時代下における健全な財政運営を図るため
- 3 調査の経過(略)
- 4 調査結果
現在、当町を含めた全国の自治体で人口減少局面に突入している。今後、生産年齢人口も減少し続けることによる労働力不足が危惧される状況を踏まえ、令和2年4月から調査してきた。

当委員会は、このような予測のもと、財政状況がどのように推移していくのか等を、決算カード、財務4表、人口ビジョン(初版)等に基づき、分析・調査・研究を実施してきたが、町民ニーズの多様化に対応していくためには「入りを量りて、出を制する」ことを、職員の認識強化と地方税等の徴収率アップに全職員で取り組む必要がある。調査の結果として

1. 公共施設等の老朽化が進んでいること
2. 財政構造の硬直化が一段と高止まりになっていること

産業厚生常任委員会

委員長 佐藤 榮三

- 1 調査事件
空き家・空き店舗等について
 - 2 調査目的
地域産業のさらなる発展のため
 - 3 調査の経過(略)
 - 4 調査結果
本町の空き家・空き店舗問題解決に向け、3つの視点から調査報告をする。
- ① 調整区域内の住宅の利活用には個別の協議が必要である。現在、本町は県の開発許可基準に対応しているが、近隣の伊達市、福島市では独自の基準で対応が可能である。県に対し、開発

許可において近隣市同様に地域特性を考慮した運用が図られるよう求めていくべきである。

② 本町の農業振興の点から農業に関連した利活用の促進を図るべきである。

2. 市街化区域内「空き家」「空き店舗」について

① 「空き家」に関して、町は「まちづくり」に対する方向性を明確に示し、物件の所有者の意向に寄り添いながら、民間の活動を支援すべきである。

② 「空き店舗」に関して、本町の空き店舗は店舗付住宅が多く、特に水道設備(トイレ・給湯室など)の点から住居、店舗の分離が容易でない。店舗部分の

以上の2点が喫緊の課題として挙げられた。

このことから、公共施設等の老朽化対策として計画的に維持補修を実施し、特に国土強靱化計画に基づく長寿命化策を明確にした取り組みを講じること。また、決算カードの性質別歳出の状況を踏まえ、経常収支比率改善のためのガイドランスを明確にした取り組みが必要である。

なお、今後において今年9月に政府はデジタル庁を設置することになっているが、当町もICT導入に伴う変化を的確に捉え、業務の効率化・事務削減による人材の有効活用を積極的に進めていき、迅速かつ柔軟に町民一人ひとりに向き合う、そして、町民に寄り添う温かな行政運営を持続させたい。

賃貸等による活用が難しい状況にある。空き店舗付住宅を住居部分と店舗部分に分離活用できるよう補助制度の検討が必要である。

3. 今後の取り組みについて

① 空き家・空き店舗の実態調査を継続するべきである。現在までの調査は今後の問題解消、利活用に向けて有効であり、継続が求められる。

② 物件の所有者と継続した連携が図られる仕組みを構築するべきである。物件の管理不全を防ぐことは地域の防災・防犯上重要である。

③ 庁内各課連携による取り組みを検討すべきである。

第16回 伊達郡町議会 議員大会 7/15

伊達郡3町(国見町・川俣町・桑折町)の議員大会が伊達市ふるさと会館において伊達郡町村議会議長会主催で開催された。

大会では、各町議会より5項目6点の要望事項が提出された。さらに、決議、特別決議も提案され、すべて全会一致で可決承認された。

※桑折町議会から提出した要望事項は次の通りです。

- 1、主要地方道及び一般県道の整備促進について
 - ・伊達崎橋の整備について
 - ・県道拡幅及び歩道設置について
 - 2、地域医療の確保について
 - ・公立藤田総合病院への常勤医師の確保等県の強力な支援の要望
- コロナ禍において、恒例の講演を中止、短時間での開催となった。

委員会活動報告

委員会活動状況

総務文教常任委員会 委員長 斉藤 謙

当委員会では今定例会において、「人口減少時代下における行財政運営管理」のあり方に関し報告した。新たに①子ども子育て支援事業のあり方について②SDGｓ宣言の具現化についてを加え閉会中の所管・所掌事務調査に上げた。町営の保育園を廃止し、民設民営へ移行する件に関し町民への説明責任をどのように行っていくのか。また、SDGｓ宣言の町に相応しい取り組みを調査・研究していく。さらに調査の途中である「コロナ禍における教育行政(学校教育・社会教育)」に関しても、コロナウイルス感染症第6波に向け併せて調査・研究していく。

産業厚生常任委員会 委員長 佐藤 榮三

委員会は、閉会中「新規就農者の確保について」を調査事件として上げる。産地の維持の課題として、就農者の高齢化、後継者不足や新規就農者不足がある。そこで、新規就農者確保が期待できる農業分野 ※地域おこし協力隊制度」を中心に調査を行う予定である。

広報広聴常任委員会 委員長 川名 静子

町民の皆様は、閉会中「新規就農者の確保について」を調査事件として上げる。産地の維持の課題として、就農者の高齢化、後継者不足や新規就農者不足がある。そこで、新規就農者確保が期待できる農業分野 ※地域おこし協力隊制度」を中心に調査を行う予定である。

まからのご意見を寄せて頂くアンケートが入っています。さて、コロナ禍での「議会報告・意見交換会」は開催を中止します。解除になったことを受け開催が可能かどうか検討しておりますが、安全が担保されないことから秋の開催は中止します。また、議会モニターの皆様と議会との意見交換会は状況を注視しながら判断していきます。町民皆様から頂いたご意見は議会発展のために生かしていきます。

議会運営委員会 委員長 半澤 高

議会運営委員会では、閉会中の所掌事務調査事項「予算決算の審議のあり方」を引き続き調査中である。

なお、議長より「桑折町議会業務継続計画(平成30年10月策

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策調査特別委員会 委員長 斉藤 謙

去る7月21日新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策調査特別委員会として、町長へ経済的支援・生活支援等について要望書を提出した。

今9月定例会一般会計補正予算において、こおりプレミアム商品券(第2弾)の発行事業、事業継続支援金給付、公共交通支

※地域おこし協力隊制度とは
地域外の人材を受け入れ地域協力活動を行い定住・定着を図る制度

ないことから秋の開催は中止します。また、議会モニターの皆様と議会との意見交換会は状況を注視しながら判断していきます。町民皆様から頂いたご意見は議会発展のために生かしていきます。

委員会 委員長 半澤 高

定見直しについて」の諮問があり、「感染症対策」に関して業務継続計画に加えるべく他議会の先進事例を参考に早急にまとめ答申する予定である。

援金給付についてもそれぞれの(第2弾)、飲食店支援金給付事業、酒類納入事業者支援金給付事業等が計上され議決した。

今後、コロナウイルス感染症の第6波が予想される。町民各位の感染予防対策に全力で対応していく。

選挙

福島県伊達郡国見町・桑折町有北山組合議会議員名簿
令和3年10月31日をもって任期満了となるので、組合規約第5条第1項及び第2項の規定により、議会議員5名の選挙を行った。

議会議員の派遣

町村議会議員研修会
・目的 町村議会議員研修会
・期間 令和3年10月20日
・場所 とうほう・みんなの文化センター
・研修内容
①議会改革・地方自治関係について(仮題)
②今後の政局・政治展望

意見書

新型コロナ禍による米危機の改善を求める意見書

コロナ禍における米の需要「消失」は2019年産米の過大な在庫を生み、2020年産米の市場価格は大幅暴落し、年末年始における感染者拡大と自粛要請、さらに緊急事態宣言の再発令により、需要減少に歯止めがかからず、2020年産米の販売不振と米価下落は底なしの状態になっています。

今年の10月末には、古米在庫が60万トンにも及ぶと試算され、36万トンの減産が実行されたとしても、効果自体が消散しかねない水準です。このままでは2021年産米の大暴落はもとより、来年の6月末在庫が250万トン規模となり、2年連続の米価下落にとどまらず2022年産米価格も上昇することはかなわず、3年連続の米価暴落となれば、大規模経営でも米づくりから撤退することにつながりかねません。

コロナにより消滅した需要減少分は、国が責任をもって「過剰在庫」を市場隔離すべきであって、その責任を生産者・流通業者に押し付けることは許されません。政府による特別な隔離対策が絶対に必要です。

コロナ禍の中、各地で取り組まれているフードバンクには食料などを求めて多くの方が参加されてきます。富山県砺波市では昨年、ひとり親家庭等を支援するため児

童扶養手当の需給世帯に「お米券」を支給し対応をしています。かつてない危機的事態のなかで、苦しむ国民と農家への支援のために、従来の政策的枠組みにとらわれない対策が緊急に求められます。

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望します。

1. コロナ禍で生まれた市場に滞留する在庫を政府が買い取るなどして市場から隔離し、需給環境を改善するとともに米価下落に歯止めをかけること。
2. コロナ禍などによる生活困難者・学生などへの食料支援制度を創設し、政府が支援すること。お米券の支給など支援を行うこと。
3. 国内消費に必要なない外国産米(ミニマムアクセス米)について、国産米の需給状況に応じて輸入数量抑制を直ちに実行すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和3年9月22日
福島県伊達郡桑折町議会

(提出先)
内閣総理大臣 様
農林水産大臣 様
財 務 大 臣 様

請願・陳情審査結果

新型コロナ禍における米危機の改善を求める意見書の提出についての請願

(請願者)

福島市大森日ノ下4番地の1
福島県北農民連
会長 富田 久夫

(審査委員会)

産業厚生常任委員会
(審査結果)
採択(意見書提出)

辺野古新基地建設の中止と、

普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情

(陳情者)

沖縄県那覇市おもろまち4丁目17番11号1階
「新しい提案」実行委員会
責任者 安里 長従
他1団体

(審査委員会)

総務文教常任委員会
(審査結果)
継続審査

請願・陳情とは

特定の事項についての利害関係を有する者が、官公署にその実情を訴え、当局の適切な措置を要望する行為。

※請願・陳情書の作成・提出方法については議会事務局へお問い合わせ下さい。
(電話582-2113)

福島県伊達郡国見町・桑折町有北山組合議会議員名簿

(任期：令和3年11月1日～令和7年10月31日)

選挙区別	氏 名	生年月日	住 所
第8	羽根田弘樹	S32.1.8	大字北半田字古館3番地
	稲村 賢一	S39.7.8	大字北半田字堀ノ内12番地
第9	工藤 隆	S27.11.9	大字谷地字梨ノ木7番地の8
	渡邊 英吉	S24.9.20	大字谷地字下高屋19番地
第10	後藤 忠郎	S30.3.22	大字伊達崎字中北沢17番地の1

令和2年度 議会費決算概要

議員報酬及び期末手当	43,084,308円
共済組合費負担金(年金分) ※制度改正により現議員は対象外	11,904,480円
職員人件費	16,519,223円
需用費(議会日より印刷製本費外)	1,500,587円
その他(旅費、交際費、使用料、負担金等)	4,348,123円
計	77,356,721円

令和2年度 議長交際費支出状況

会 費 (各種団体総会等)	9件	39,000円
慶 祝 (百歳高齢者賀寿祝金)	5件	50,000円
合 計	14件	89,000円

お詫び
・夏号に掲載すべき訂正が1件漏れました。
P24(誤)遭っては↓(正)あつては
P3 国保税改正
(誤)一世帯当たり：増
(正)一世帯当たり：減
お詫びして訂正いたします。

年	月	日	活動状況	内 容	出席者
6	24	議会全員協議会	・ 福島蚕糸跡地利活用について	全 議 員	
		25	例月出納検査	・ 定期検査	選出委員
		28	広報広聴常任委員会	・ 議会だより編集会議	選出委員
		29	議会全員協議会	・ 次期総合計画の素案について、6月定例会の総括について	全 議 員
		議会運営委員会	・ 6月定例会の総括について	選出委員	
	1	第15回新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策調査特別委員会	・ 桑折町商工会会員との意見交換会の実施結果と今後の課題等に関して	選出委員	
			2	広報広聴常任委員会	・ 議会だより編集会議
		6	総務文教常任委員会	・ コロナ禍における教育行政(学校教育・社会教育)について	選出委員
		7	広報広聴常任委員会	・ 議会だより編集会議	選出委員
		8	産業厚生常任委員会	・ 空き家・空き店舗等について	選出委員
12		総務文教常任委員会	・ コロナ禍における教育行政(学校教育・社会教育)について(伊達崎諏芳小学校視察)	選出委員	
		広報広聴常任委員会	・ 議会だより編集会議	選出委員	
15		第16回伊達郡町村議会議員大会	・ 各町議会提出要望事項について、決議(案)について、特別決議(案)について	全 議 員	
		議会視察研修	・ 伊達市議会における「タブレット端末の運用とシステム環境」について	全 議 員	
16		全国山城サミット桑折大会実行委員会委員長・副委員長会議	・ 桑折西山城跡紹介動画について、大会ロゴマークについて、第28回全国山城サミット桑折大会2021運営計画書について	議 長	
	第16回新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策調査特別委員会		・ 要望書案の協議について	選出委員	
	後期高齢者医療広域連合議会運営協議会	・ 議事日程等について	議 長		
		後期高齢者医療広域連合議会定例会	・ 専決の承認3件、認定2件、補正予算2件	議 長	
	第 3 回 全 国 山 城 サミット桑折大会実行委員会	・ 桑折西山城跡紹介動画について、大会ロゴマークについて、第28回全国山城サミット桑折大会2021運営計画書について	正副委員長		
		例月出納検査	・ 定期検査	選出委員	
	21	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策調査特別委員会要望書提出	・ 町へ要望書提出	正副委員長	
		24	諏訪神社例大祭	・ 例大祭式典	議 長
	3	「献上桃」選果・箱詰式	・ 献上桃選果・箱詰式	議 長	
			令和3年第3回伊達地方消防組合議会全員協議会	・ 議事日程等について	選出議員
26		令和3年第3回伊達地方消防組合議会臨時会	・ 令和2年度伊達地方消防組合一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について、動産の取得について2件、令和3年度伊達地方消防組合一般会計補正予算(第1号)	選出議員	
		産業厚生常任委員会	・ 空き家・空き店舗等について	選出委員	
27		定期監査・決算審査	・ 令和2年度事業に関する定期監査・決算審査(税務住民課、健康福祉課)	監査委員	
		総務文教常任委員会	・ コロナ禍における教育行政(学校教育・社会教育)について	選出委員	
28		定期監査・決算審査	・ 令和2年度事業に関する定期監査・決算審査(まちづくり推進課、生涯学習課)	監査委員	
		国見町議会行政調査	・ 議員定数削減の経過について、議員報酬等の実態について	正副議長	
29		福島県町村議会議長会議	・ 正副会長会議、理事・監事合同会議、県への要望実行運動、県議会議長と本会役員との意見交換会	議 長	
		定期監査・決算審査	・ 令和2年度事業に関する定期監査・決算審査(産業振興課)	監査委員	
30	広報広聴常任委員会	・ 議会モニターからの意見仕分けについて	選出委員		
		定期監査・決算審査	・ 令和2年度事業に関する定期監査・決算審査(地域整備課、生活環境課)	監査委員	
	2	定期監査・決算審査	・ 令和2年度事業に関する定期監査・決算審査(上下水道課・総合政策課)	監査委員	
		3	定期監査・決算審査	・ 令和2年度事業に関する定期監査・決算審査(総務課)	監査委員
	4	広報広聴常任委員会	・ アンケート回収報告について	選出委員	
		定期監査・決算審査	・ 令和2年度事業に関する定期監査・決算審査(こども教育課・会計室・議会事務局)	監査委員	
	8	議会運営委員会	・ 令和3年第5回桑折町議会臨時会の議事日程等について	選出委員	
		5 議会全員協議会	・ 令和3年第5回桑折町議会臨時会の議事日程等について、「旧役場庁舎敷地」売却手続きの進捗状況について、新桑折町総合計画の素案について、役場内Wi-Fi(無線LAN)環境改善策について、「タブレット端末の運用とシステム環境」視察研修の総括について	全 議 員	
	令和3年第5回桑折町議会臨時会	町道107号(昭和大橋)災害復旧工事請負契約の締結について	全 議 員		

年	月	日	活動状況	内 容	出席者
6	10	令和3年度定期監査概況報告	・ 定期監査について、監査委員講評	監査委員	
		第17回新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策調査特別委員会	・ 新型コロナウイルスワクチン接種と今後の予定について	選出委員	
	17	総務文教常任委員会	・ 素案の検討	選出委員	
	18	福島地方水道用水供給企業団来庁	・ 議会定例会事前打ち合わせ	議 長	
	19	議会全員協議会	・ 旧庁舎敷地について、県議長会から依頼のあった意見書の協議について、桑折町議会業務継続計画見直しについて	全 議 員	
		議会運営委員会	・ 9月定例会の進め方について、臨時会における議案書の配布について、桑折町議会規則の改正について	選出委員	
	8	例月出納検査	・ 定期検査	選出委員	
	25	令和3年8月福島地方水道用水供給企業団議会定例会	・ 決算認定1件、報告1件	議 長	
		産業厚生常任委員会	・ 調査報告書の協議について、議会モニターからの意見への回答について	選出委員	
	27	公立藤田病院議会全員協議会	・ 新型コロナウイルス感染症の現状について	選出議員	
		福島県縦断駅伝競走大会桑折町実行委員会	・ 実行委員会及び事務局体制について、令和2年度事業報告・収支決算について、令和3年度事業計画(案)・収支予算(案)について、令和3年度桑折町駅伝チーム選手について	議 長	
		30	議会運営委員会	・ 9月定例会の議事日程等について、桑折町議会業務継続計画見直しについて	選出委員
1		議会全員協議会	・ 新桑折町総合計画(案)について	全 議 員	
	議会運営委員会	・ 9月定例会の議事日程(追加議案)について	選出委員		
	議会全員協議会	・ 令和3年第6回桑折町議会定例会の議事日程等について、提案内容の説明	全 議 員		
7	令和3年第6回桑折町議会定例会	・ 会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、行政報告、町長提案理由の説明、補正予算4件の説明、一般会計決算認定総括説明、特別会計・水道事業会計決算認定総括説明、継続費精算報告、健全化判断比率、資金不足比率報告、決算審査結果報告	全 議 員		
		総務文教常任委員会	・ 付託事件審査	選出委員	
	議会全員協議会	・ 議事日程等について	全 議 員		
	8	令和3年第6回桑折町議会定例会	・ 一般質問	全 議 員	
9	議会全員協議会	・ 議事日程等について	全 議 員		
	令和3年第6回桑折町議会定例会	・ 一般質問	全 議 員		
	産業厚生常任委員会	・ 付託事件審査、空き家、空き店舗等についての調査報告書の協議について、閉会中の所管所掌事務調査申出事項について	選出委員		
	10	全国山城サミット桑折大会実行委員会委員長・副委員長会議	・ 第28回全国山城サミット桑折大会開催内容について	議 長	
総務文教常任委員会		・ 付託事件審査、閉会中の所管所掌事務調査申出事項について	選出委員		
9	議会全員協議会	・ 議事日程等について	全 議 員		
13	令和3年第6回桑折町議会定例会	・ 条例改正3件、補正予算4件、新総合計画、同意1件審議採決、一般会計、特別会計、水道事業会計決算認定常任委員会所管別説明	全 議 員		
14	西根神社秋季例祭	・ 例祭式典	議 長		
15	議会全員協議会	・ 議事日程等について	全 議 員		
	令和3年第6回桑折町議会定例会	・ 一般会計決算認定所管別質疑(総務文教)	全 議 員		
17	議会全員協議会	・ 議事日程等について	全 議 員		
	令和3年第6回桑折町議会定例会	・ 一般会計、特別会計、水道事業会計決算認定所管別質疑(産業厚生)	全 議 員		
21	議会全員協議会	・ 議事日程等について、「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書(案)」について、総務文教常任委員会からの調査特別委員会設置申し出について	全 議 員		
	令和3年第6回桑折町議会定例会	・ 一般会計決算認定総括質疑、討論採決	全 議 員		
	産業厚生常任委員会	・ 空き家、空き店舗等についての調査報告書の最終打合せについて	選出委員		
	議会全員協議会	・ 議事日程等について	全 議 員		
22	令和3年第6回桑折町議会定例会	・ 特別会計、水道事業会計決算認定審議採決、水道事業剰余金の処分審議採決、追加議案審議採決	全 議 員		
	広報広聴常任委員会	・ 議会だより編集会議	選出委員		

今定例会に、国に対して「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める」意見書が全会一致で採択された。全文は次号に掲載します。

- ・ 工期
令和3年8月5日～令和4年3月25日
- ・ 契約相手方
住所 福島市佐倉下字観音堂11番地の3
氏名 東開工業株式会社
代表取締役 高野次郎
- ・ 契約の方法
条件付一般競争入札
- ・ 契約金額
8635万円
(うち消費税及び地方消費税の額785万円)
- ・ 契約の目的
町道107号(昭和大橋)の災害復旧工事のため



昭和大橋 復旧までもう少しの辛抱です

モニターさんからの感想・意見

議会だより「表紙」見出しがあり、読みやすくなった。また、町での出来事を表紙にしたのは大変よかった。

全員協議会を傍聴して協議事項がある時は、予め、資料を渡して、各議員の意見を聞けるように配慮すべきではなかったか。

議会を傍聴して発言者の声が聞き取りにくいです。

議会を傍聴して生活道路である町管轄の昭和大橋の1日も早い開通をお願いしたい。

議会を傍聴して議員各位が調査をして臨んでいる事もあり、議会はスムーズに進行したと思う。

議会だより「一般質問」2問から3問にしてください。

全員協議会を傍聴してタブレット導入について、伊達市見学は議員の考えを合わせるのにはよい方法であると思う。

議会だより「これも質問」短い文言だからこそ、とても分かりやすく読みやすい。

議会だより「議員活動状況報告」とても小さい文字になって読みにくいです。

他に、議会だよりに対しての意見、議会での各議員への質問に対して提案等が寄せられました。今後、各常任委員会に振り分け協議をしていきます。

町民の声

議会広報委員会では発行後、各地区数名の方々にアンケート調査にご協力を頂いております。皆様からの率直な生の声として、「町民の声」のページに掲載しております。わかりやすい、伝わる紙面づくり、編集に生かさせて頂きます。

◎議会傍聴から

・1～2回傍聴 2名

・今回、本当に聞きたい質問、発言、回答が聞けなかった。
・60分間の中で質問は3番位で、内容をもっと具体的に発言、回答が必要と思う

(70代男性)

・蚕糸跡地の問題、今現在町民の人数から考えても、何故、今以上に食品スーパーが必要なのか。
・キャンプ施設の必要理由が知りたい。

・「未来会議」をヒントに蚕糸跡地の活用がされると、ほぼぼの町民は思った

(60代男性)

◎議会だよりアンケートから
・毎回読む 12名
・目にした時に読む 5名

「議会だより」を読んで気づいた点・要望など

・議会に関心がなかったが、だよりを読んで、町政が理解出来た。
・質問事項を実行した場合の財源案が不明

(80代女性)

・町の様子を知る唯一の手段なので、よろしくお願い致します

(50代男性)

・年を重ねても読みやすいものをお願いしたい。

(70代女性)

・一般住民には理解しづらい所があるので、もう少し簡略化した方が容易に手にとって読みやすいのではないでしょうか。

(60代女性)

・細かく専門用語が多く文章がかたいと思った。
・内容が数年前とあまり変わらない。

(60代女性)

編集後記

17日間に及ぶ9月定例会の白熱した議論の雰囲気を感じ取って頂くためにはと、頭の中はまだ定例会の延長線上での編集作業でした。編集に携わった委員自らもアイデアを出し、“分かる・伝わる”広報誌作りに奮闘して下さいました。

お陰様で今 秋号も定例会終了から一か月以内に発行することができました。

これようやく私にも虫の音を聴きながら、一杯のコーヒーを味わえる時間がやって来ました。「議会だより」をご覧になった感想など、お聞かせいただければ、また、頑張れるかな。

川名静子

■広報広聴常任委員会 編集委員

委員長 川 名 静 子 委員 佐 藤 武 朗
副委員長 鈴 木 隆 志 委員 岡 本 貴 士

まちの歳時記

～秋上げ、赤トンボ、イナゴ取り… 秋の風物詩～



議会だより

令和3年10月13日発行

発行 福島県伊達郡桑折町議会
責任者 片 平 秀 雄
編集 広 報 編 集 委 員
電話 (024) 582-2113
印刷 株式会社日進堂印刷所

<http://www.town.koori.fukushima.jp>